

報道関係者各位

— 川崎市市民ミュージアム 公募展のご案内 —

第51回を迎える、川崎市で最も歴史のある公募展

かわさき 市美術展

〈書体デザイン〉
浅水屋甫

川崎市市民ミュージアムでは「第51回 かわさき市美術展」の作品公募を開始し、2018年2月10日(土)・11日(日)の計2日間、応募ならびに搬入を受付いたします。

かわさき市美術展は1967(昭和42)年に始まった、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている方を対象に公募を行います。

51回目の開催を迎え、これまでとは異なる新しい展覧会を目指し、一般部門と中高生部門で分けていたところを、今年度より高校生(平成14年4月1日以前に生まれた方)も一般公募の対象となりました。高校生であっても、作品の完成度で一般の方と対等に審査され、入選・入賞の機会が増えることとなります。また、新たな賞として90歳以上の方に対し「シニア大賞」を設け、ご高齢の方にも、より意欲的にご参加いただけるようになりました。

※かわさきマイスターの浅水屋甫さん(広告看板製作)によるデザインのもと、題字を一新。川崎市の色をコンセプトとし、多様な人々が行き交う川崎らしさが表現されています。

「第51回 かわさき市美術展」公募概要

【 応募作品 】

部門…①平面 ②彫刻・立体造形 ③工芸 ④書 ⑤写真
⑥市内在住・在学の中学生を対象とした中学生部門
(平面・彫刻・立体造形・工芸・書・写真)

【 応募資格 】

一般：平成14年4月1日以前にお生まれの方で川崎市在住
・在勤・在学の方、又は市内を活動の場とする方
(高校生含む)

中学生：市内在住・在学の中学生

【 応募・搬入 】

2018年2月10日(土)・11日(日) 10:00~16:00

申込書(募集要項)は、11月15日(水)から区役所や市民館などで随時配布いたします。

また、川崎市市民ミュージアムのホームページからもダウンロードできます。

[裏面へ続く](#)



第50回 最優秀賞作品 「猿の夢寐」吉永 蛍

第 51 回 かわさき市美術展 入賞・入選作品展

【会 期】2018 年 3 月 3 日（土）～3 月 17 日（土）

【会 場】川崎市市民ミュージアム 2F 企画展示室 2

【開催時間】9:30～17:00（入館は 16:30 まで） ※3 月 17 日（土）のみ 15:00 まで。

【休 館 日】毎週月曜日（3 月 5 日、12 日）

【観 覧 料】無料

【主 催】川崎市市民ミュージアム、かわさき市美術展運営委員会

【共 催】川崎市

【後 援】川崎市教育委員会

【協 賛】川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合（50 音順）

表彰式

2018 年 3 月 17 日（土）13:00～

表彰式終了後、審査委員による入選作品の講評を予定。

※入賞・入選作品については、2 月の選考会終了後に、改めてご案内いたします。

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住 所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2(等々力緑地内)

■開館時間：9:30～17:00(入館は 16:30 まで)

■休 館 日：月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

■観 覧 料：企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

* 20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス：下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

・武蔵小杉駅(JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)よりバスで約 10 分

・武蔵溝ノ口駅(JR 南武線)・溝の口駅(東急田園都市線・大井町線)よりバスで約 20 分

・JR 川崎駅よりバスで約 40 分

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 鋒山(ほこやま)・坂下・石澤

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30～17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/>

* 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体